SEMI G75.5-0698 (Reapproved 0706)
リードフレームテープの加熱重量減少率の測定のための試験方法

NOTICE: This translation is a REFERENCE COPY ONLY. If differences should exist between the English version and a translation in any other language, the English version is the official and authoritative version.

免責事項： この SEMI スタンダードは，投票により作成された英語版が正式なものであり，日本語版は日本の利用者各位の便宜のために作成したものです。万が一英語と日本語とに差異がある場合には英語版記載内容が優先されます。

SEMI スタンダード日本語翻訳版をご利用にあたっての注釈を本文の末尾に記載しております（「すべきである」「しなければならない」について等）。

本スタンダードは，Assembly & Packaging Global Technical Committee で技術的に承認されている。現版は 2006 年 5 月 16 日，global Audits and Reviews Subcommittee にて発行が承認された。2006 年 6 月に www.semi.org で。初版は 1998 年 6 月発行。

SUPERSEDED

1 方法の要約

1.1 半導体デバイスのアセンブリおよびパッケージング工程でかかる温度に露出される前後で，試料は秤量される。加熱重量減少率は，サンプルの重量における重量変化の百分率として計算する。

2 装置

2.1 0.1 mg の精度の天秤。

2.2 精度 300°C ± 2°C の能力があるオーブン。

3 サンプリング

3.1 サンプリングは，1 ロットあたり 1 サンプルである。ユーザが要求するならば，メーカーは，ロットの定義を報告しなければならない。

4 試料の調整

4.1 23°C ± 2°C と 50 ± 5% RH で 16 時間以上，サンプルを放置する。これは，恒温恒湿室または恒温恒湿器において実施されてもよい。

4.2 各試料の最小重量が 1 グラムとなるように，サンプルから試料を切り出す。

5 テスト条件

5.1 *テスト条件 1* － 100°C で 60 ± 1 分間。

5.2 *テスト条件 2* － 200°C で 60 ± 1 分間。

5.3 *テスト条件 3* － 300°C で 10 ± 0.5 分間。

注 1: メーカーとユーザ間の合意の上で，代わりの温度が用いられてもよい。

6 装置のセットアップおよび校正

6.1 セットアップと校正の手順は，恒温恒湿器メーカーのマニュアル参照。

注：SEMI による書面での了承なき場合は，本書の全部もしくは一部の転載を禁じる。
©SEMI ジャパン 〒102－0074 東京都千代田区九段南 4－7－15

Documents Document Sharing Hub

Full document details: SEMI G75.5-0698-0706R (Japanese)

7 手順

7.1 試料の操作を容易にするために，その風袋重量（W_1）を秤量してあるコップかまたはトレイの中へ入れ重量測定を行う。

7.2 オーブンを規定されたテスト条件にして試料を処理する。

7.3 オーブンから試料を出してから，16 時間以上 23°C ± 2°C および 50 ± 5% RH で保管する。

7.4 試料を再秤量する（W_2）。

7.5 *計算*

7.5.1 重量損失 A（%）は，次式から決定される：

$$A\,(\%) = \frac{(W_1 - W_2) \times 100}{W_1}$$

8 関連文書

8.1 *JIS 仕様*[1]

JIS K 0067 － Testing Methods for Loss and Residue of Chemical Products

注意：SEMI は，本書に定められたスタンダードおよび安全ガイドラインが個々のケースに適するか否かの保証も言明もしていない。本スタンダードあるいは安全ガイドラインの適，不適を判断するのは，利用者各位の責任となる。また利用者各位は，ここに記載されている製造者の指示，製品ラベル，製品データシート，そのほかの関連文献を必ず参照のこと。なお，スタンダードおよび安全ガイドラインは予告なしに変更されることがある。

本スタンダードあるいは安全ガイドラインを発行することにより，SEMI は，本スタンダードあるいは安全ガイドラインの中に記載された各項目に関連する特許権または著作権の効力の有無について責任ある立場にはない。各特許権または著作権の有効性および権利侵害の危険性についての判断は，本スタンダードあるいは安全ガイドラインを使用する利用者各位の責任となる。

SUPERSEDED

[1] Japanese Standards Association, Mita MT Bldg., 3-13-2 Mita, Minato-ku, Tokyo 108-0073, Japan; Telephone: +81.3.3583.8005, Fax: +81.3.3586.2014, http://www.jsa.or.jp

Documents
Document Sharing Hub

Full document details: SEMI G75.5-0698-0706R (Japanese)